

提出 順番	No. 5	令和元年11月25日 午前・午後10時37分受領
----------	----------	-----------------------------

令和元年11月25日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 酒井 はやみ 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1 2050年までに温室効果ガス実質排出ゼロの目標設定を	<p>記録的な猛暑や暴風雨、台風、干ばつなどが世界や日本を襲い、深刻な被害をもたらしています。誰もが地球温暖化による気象変動を実感し、町民の多くが災害や農作物への影響など、我が事として危機感を抱いています。</p> <p>2015年COP21「パリ協定」では、産業革命前と比較して1.5度の気温上昇に抑えるとしました。1.5度の上昇であっても、深刻な熱波、嵐、水不足、山林火災、食料生産の安定化などが生じるとされていますが、現在提出されている各国の温室効果ガス削減目標の合計では、21世紀末には約3度の気温上昇が起これると予想されています。国連は、このままの状態が進むと、「今世紀末に海面上昇が1.1メートル、世界全体の漁獲量が最大24.1%減少する」と予測しています。</p> <p>こうした危機感から、今年9月に行われた「国連気候行動サミット」では、若い世代を中心に世界各地で760万人のデモが行われ、16歳の環境活動家グレタさんの発言が反響を呼びました。77カ国が2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを表明し、真剣な取り組みが始まっています。</p> <p>幕別町でも、平成18年に策定した地域新エネルギービジョンの目標を大幅に達成し(2016年12月議会議事録より)、温室効果ガスの排出を抑えてきました。</p> <p>しかし日本政府は、温室効果ガス排出量世界第5位、国民一人当たりの排出量世界第4位でありながら、実質排出ゼロの期限を示さず、石炭火力発電所の増設や輸出</p>

<p>2 町のごみ処理の在り方について、町民が考え意見を言える場を</p>	<p>を計画しています。地方自治体からも、実質排出ゼロの目標を掲げた積極的な取組を起し、政府の姿勢を改めさせることが求められています。</p> <p>町は、気候変動をめぐる世界情勢を踏まえて、今後温室効果ガス削減に向けてどう取り組もうとしているのか、以下の点を伺います。</p> <p>① 幕別町の温室効果ガス排出量の推移と現状は。 ② 町として 2050 年までに、温室効果ガス実質排出ゼロの目標と計画を持つ考えは。</p> <p>報道によると、十勝圏複合事務組合一般廃棄物中間処理施設「くりりんセンター」を 285 億円かけて建て替えることが検討されています。今後 20 年、30 年にわたって、現在と同規模のごみを焼却して処理する在り方を続けるのかが問われています。</p> <p>以下の点を伺います。</p> <p>① 建て替えによる町民の負担は。 ② 町民が建て替えについて意見を言える場は。 ③ 可燃ごみを抜本的に減らすため、生ごみや紙おむつを資源化する考えは。 ④ 地球温暖化対策が焦眉の課題となっている今、町としてごみ処理の在り方を見直す検討委員会を設置する考えは。</p>
---------------------------------------	---